

地域づくり活動NP0事業助成事業 実績報告

事業区分 (1 — 203)

団体名	(特非) 百生一輝	代表者名	(職名) 理事長	(氏名) 廣瀬 祥行
事業名	「つむぐ」地域づくりの第一歩			

<事業実施実績>

年月日 定例は「月1回」 「毎〇曜日」等で 記入	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) ※講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
7月21日	当法人	12 (2)	ひきこもり家族会 定例で情報交換・共有の場、ご家族の想いを吐露する場として、対面での家族会を月1回開催。当事者家族、支援に関心のある方、元ひきこもり当事者が参加
8月18日	当法人	9 (2)	ひきこもり家族会 定例で情報交換・共有の場、ご家族の想いを吐露する場として、対面での家族会を月1回開催。当事者家族、支援に関心のある方、元ひきこもり当事者が参加
8月23日	三田	1 (1)	個別面談
8月30日	三田	1 (1)	個別面談
9月6日	川西能勢口	1 (1)	個別面談
9月8日	当法人	12 (2)	ひきこもり家族会 定例で情報交換・共有の場、ご家族の想いを吐露する場として、対面での家族会を月1回開催。当事者家族、支援に関心のある方、元ひきこもり当事者が参加
9月18日	当法人	2 (1)	個別面談
9月20日	三田	1 (1)	個別面談
9月23日	パレット川西	4 (1)	【講演会名】「マインドフルネス（青空）」のわたし ココロもカラダもしあわせに！ 【講師名】 林紀行様（仁泉会病院 内科・精神科 医師） 【会場名】パレット川西（貸会議室）
10月5日	三田	1 (1)	個別面談
10月11日	三田	1 (1)	個別面談
10月13日	当法人	9 (2)	ひきこもり家族会 定例で情報交換・共有の場、ご家族の想いを吐露する場として、対面での家族会を月1回開催。当事者家族、支援に関心のある方、元ひきこもり当事者が参加
10月16日	当法人	1 (1)	個別面談
11月10日	当法人	13 (2)	ひきこもり家族会 定例で情報交換・共有の場、ご家族の想いを吐露する場として、対面での家族会を月1回開催。当事者家族、支援に関心のある方、元ひきこもり当事者が参加
11月12日	川西能勢口	1 (1)	個別面談
11月23日	明石	1 (1)	個別面談
11月24日	多田東会館	8 (4)	【講演会名】「訪問支援で大切ないくつかのこと」～もう一度考えたいアウトリーチのエッセンス～ 【講師名】 金井浩一様（一般社団法人ライフラボ代表理事・相談支援事業所しばふあーれ所長） 【会場名】多田東会館（貸会議室）
12月8日	当法人	15 (3)	ひきこもり家族会 定例で情報交換・共有の場、ご家族の想いを吐露する場として、対面での家族会を月1回開催。当事者家族、支援に関心のある方、元ひきこもり当事者が参加
12月13日	川西能勢口	1 (1)	個別面談
12月16日	自宅	1 (1)	個別面談
1月8日	当法人	1 (1)	個別面談
1月8日	川西能勢口	1 (1)	個別面談

1月12日	当法人	1 4 (2)	ひきこもり家族会 定例で情報交換・共有の場、ご家族の想いを吐露する場として、対面での家族会を月1回開催。当事者家族、支援に関心のある方、元ひきこもり当事者が参加
1月15日	三田	1 (1)	個別面談
1月23日	自宅	1 (1)	個別面談
1月25日	三田	1 (1)	個別面談
1月28日	自宅	1 (1)	個別面談
2月1日	川西能勢口	1 (1)	個別面談
2月1日	岡場	1 (1)	個別面談
2月5日	明石	1 (1)	個別面談
2月9日	当法人	1 4 (2)	ひきこもり家族会 定例で情報交換・共有の場、ご家族の想いを吐露する場として、対面での家族会を月1回開催。当事者家族、支援に関心のある方、元ひきこもり当事者が参加
2月16日	多田東会館	1 7 (4)	【講演会名】「アウトリーチ大切ないくつかのこと」と「チームづくり」について 【講師名】金井浩一様（一般社団法人 ライフラボ代表理事・相談支援事業所 しばふあーれ所長） 【会場名】多田東会館（貸会議室）
2月19日	川西能勢口	1 (1)	個別面談

<効果と成果>

障害者総合支援法の自立訓練事業（生活訓練事業）は、数ある福祉サービスのなかで唯一、ひきこもりのことが明記されているサービスで、2025年2月、当法人は指定事業所としての認可が下りた。この事業のガイドラインにはひきこもりの方の家に訪問（アウトリーチ）ができると記されてる。当法人には精神保健福祉士、公認心理士の有資格者、および就労相談員が在職しており専門的な対応が可能と考える。またアウトリーチセミナーを二度開催したことで、ボランティアでアウトリーチに携わりたいという参加者もあり、地域住民と協同し支援の輪を広げることは、ひきこもり当事者、およびその家族が住み慣れた地域で孤立することなく安心して暮らせる礎になるものと考えている。家族会担当が2名体制となり、当事者家族の困り事等を聴く機会がこれまで以上に増え、家族会が地域での安心できる居場所のひとつになっているのではと思っている。家族会運営の自立化の課題はあるが、家族会参加者も増えており地域での孤立化の解消の一役を担っていると考えている。

<今後の展望>

行政機関、また地域社会福祉協議会などの機関を経由してからではなく、直接、ひきこもり当事者家族からの相談の連絡も少なくはないが、そのなかでひきこもりに関する相談以外にも、不登校の当事者を抱える当事者家族からの相談も増えている。ひきこもりの「8050」「9060」問題と同様、増え続ける不登校者数も問題となっており、不登校からひきこもりになり、長期間にわたり状態像に変化がない当事者家族が当家族会にも参加されている。不登校に関してはひきこもりとは違ったサポートが必要だと思われ、当法人としても支援団体との連携の必要性を痛感しており今後の課題としている。またひきこもりの当事者家族からひきこもり当事者が安心して過ごせる居場所に関する問い合わせも増えている。ひきこもりの居場所は家族会同様、ひきこもり当事者

の地域での孤立化を防ぐためにも必要だと思っており、当法人の自主事業として自立化に向けての運営課題はあるものの、助成金を運用しながら取り組んでいきたいと思っている。

<収支決算書>
(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動NP0事業助成金	4 3 6 , 0 0 0
自己資金	1 5 , 4 6 3
合 計	4 5 1 , 4 6 3

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	人件費	1 7 5 , 6 0 4	1 7 5 , 6 0 4
	通勤・旅費交通費	3 5 , 2 2 4	3 5 , 2 2 4
	謝金	1 3 0 , 0 0 0	1 3 0 , 0 0 0
	その他（会場費等）	2 0 , 3 0 7	6 , 3 1 2
	小 計	3 6 1 , 1 3 5	3 4 7 , 1 4 0
間接経費（一般管理費）		9 0 , 3 2 8	8 8 , 8 6 0
合 計		4 5 1 , 4 6 3	4 3 6 , 0 0 0